

伊賀市と山添村との定住自立圏の形成に関する協定項目一覧

協定項目			協定項目		
1. 生活機能の強化			2. 結びつきやネットワークの強化		
(1)医療			(1)公共交通		
①救急医療体制の推進		○	①地域公共交通対策		○
(2)健康・福祉			(2)ICTの活用		
①子育て支援事業の充実		○	①地域情報の共有化の推進		○
②高齢・障がい福祉事業の充実		○	(3)交通インフラの整備		
③健康づくり事業の充実		○	①広域幹線道路等の整備促進		○
(3)教育			(4)地産地消		
①教育環境の整備		○	①地産地消の推進と販路拡大		○
②文化・スポーツ活動の振興		○	(5)地域内外の住民との交流		
③生涯学習活動の推進		○	①移住・交流施策の推進		○
(4)産業振興			②空き家の利活用		○
①就労支援と雇用の促進		○	③公共施設の相互利用		○
②企業立地の促進		○	④交流拠点施設の活用などによる地域間交流		○
③広域観光事業		○	3. 圏域マネジメント能力の強化		
④地域ブランド創造促進事業		○	(1)人材育成・交流		
⑤鳥獣被害防止対策		○	①圏域内職員の人材育成		○
(5)環境			(2)外部からの人材確保		
①不法投棄防止対策		○	①専門的な知識経験を有する人材の確保		○
②ごみ処理の広域連携の強化		×			
③木津川流域の環境整備		×			
(6)防災					
①広域連携による防災力強化		○			
②相互応援体制の確立		○			

【連携見送り事業】

項目；(5)環境 ②ごみ処理の広域連携の強化

理由；現在、山添村においては、天理市及び大和高田市を含めた10市町村で、ごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として一部事務組合を設立しており、2023年稼働をめざし調整を行っているため、現時点で連携は難しい。

項目；(5)環境 ③木津川流域の環境整備

理由；現在、木津川流域では、漁業協同組合が主体的に除草作業やクリーンキャンペーン等を行っており、環境整備の連携を進めるためには十分な精査と検討が必要と考えているため、現時点で連携は難しい。

<参考：伊賀市と笠置町、南山城村との協定項目から抜粋>

5 環境

施策	取組内容	甲の役割	乙の役割
ごみ処理の広域連携の強化	ごみ処理コストの軽減、リサイクルによる循環型社会の構築のため、可燃ごみの資源化を軸として、さらなる4Rの推進に取り組む。	乙と連携し、ごみ減量やリサイクルの推進等に取り組む。	甲と連携し、ごみ減量やリサイクルの推進等に取り組む。
木津川流域の環境整備	圏域内を流れる木津川の河川環境を整備するとともに、圏域全体で木津川の自然を発信する。	乙と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取組みを行う。	甲と連携し、木津川流域の保全・整備・活用に必要な取組みを行う。